



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 19 附3

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 19 附3. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 19(附3)

ISSUE DATE:

1954-04-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186861>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会
水族館月報

附 3

1954 4月 (4月2日)

1954年度委員会議案

1. 議長送出、監事の委員会における資格、オザバーの承認
2. 議事決定、審議順位決定
(この委員会で審議不要と思われる議題はないか)
3. 1953年度 経理報告
送達してある年報を以て説明にかえる。月報・年報で不十分の英は、求めに応じて説明する。
4. 同上に対する監事の監察報告
5. 1954年度予算決定

(案) 収入予想額	3,000,000 (15~20万人)
支出一般経費	1,300,000 (積立金を含む)
水族館改善費	300,000
実験所改善費	700,000 (内印刷費400,000)
博物館費	150,000 (昨年は11ヶ月分)
特別予備金	500,000 (収入の1/6)
災害時予備金	50,000
	3,000,000

- (イ) 各項中の費目の割合は昨年度に準ずる。
- (ロ) 本年度は耐乏生活の影響が現われる事が予想されるので、収入を300万円と控え目に想定した。
- (ハ) 特別予備金は契約金の引続きの性格をとり、博物館費は入場税の振替である以上、これを圧縮する事は出来ない。一般経費も圧縮困難である之等と差引いた残額をほぼ水族館と実験所に1:2に按分(たのが)この立案の根據である。
- (ニ) 実収入がこれより多い場合には大枠以上の割合に準じて適切に使用する。但し出費が多額に及ぶ際には能う限り

各従業員の事前了解を求めること。

6. 昨年度特別予備金の処分

予算が確保されておらずその日その日の収入で運営にいく機構から考へて、従業員の地位安定のためにも最低100万円程度の災害時予備金が必要と思われる。よつて昨年度特別予備金405,500円を災害時予備金に繰入れる事を当番として切望する（そうすると予備金現在高は551,554円となる）予備金の保管方法。（例えばある額を定期預金とする）

7. 本年度特別予備金の処分

契約金の引続きである以上、これを水族館及びその附帯設備の改善以外に使用する事は、水族館入場料の實質的値上げになる。よつて当番として、この金額がけつりと水族館及びその附帯設備のために使用される事を主張する。

8. 対明光バス・番所山植物園との契約研究

全従業員の揃っている際に、今日に至る迄の経過の一切を詳細に報告しておくたい。対番所山の問題として（イ）慣用道路となつたための海岸道の着工といかにして推進せ（あるか）、他に方法ありや（ロ）博物館前広場の手入れといかにして実行させるか——の二点を考へておいて戴きたい。

9. 博物館の公開を続けるかどうか

10. 本年度水族館改善事業案

- (イ) 博物館前広場低地土盛り又は舗装
- (ロ) 水族館道舗装
- (ハ) 水槽遮光装置
- (ニ) 保温水槽大改造
- (ホ) 大水槽建造

当水族館に大型魚又は小魚の大群集がいない事が、さきくに観光客から指摘される。實際問題として、水族館の改築は許されても、増築は不可能であろうから、すべてこのつに頼る。月がない。ところが水槽の増設には海水タンクの容量を増すことが必要である。そこで現在の水槽の排水を利用して

側面ガラスを有いた、大水槽を作るとすると、陳列室右側
に、場所がある事が判った。もし特別予備金の使用が
許されるならば、これと水族館改善費とを使用して、1-2年計
画で、ここに実験用をもちかねた大型水槽を作ることが出来
るであろう。

11. 従業員待遇改善

勤務期間は短い、生活給と云う見地から、実験所雇
傭人に近い給料を支給する必要があると思われる。

12. 次期当番決定

多事多難であつた昨年度における当番の挙動について不信
仕の向も多々あるに相違ない、この点を十分に討議の上
次期当番を決定して貰いたい。この7案

(イ) 完全休日に当番に与える具作案を作り出す事

(ロ) 当番の自由裁量の限を何と決定しておき、当番
の奔放を防止すると同時に、その活動を消極
化せぬ事

の又案を考慮して貰いたい。

13. 町当局・観光協会に対する希望

(イ) この水族館が観光施設でない事を率直に一般
に認めて貰いたい。

(ロ) 臨海一帯を騒音禁止区域に指定して貰いたい。

(ハ) 立札・標示類を観光地にふさわしく統一して製作
し、これを設けた地と嚴重に論議し、かつ一
設けにもものは責任を以て修理して貰いたい。

14. その他の事項

当番として必要な事は 1-13 項で終りますが、次に各役員
方の御提議をいたしたく存じます。それもいさなり会の席上
で出されますと、審議に時間がかかりますので恐縮ですが、

4 月 15 日

追に、御提議を時岡委員まで御送附下さるよう願います。
当方で取纏め印刷の上、又5日追にお届けし、会が開かれ
る追に各案に対する十分な御意見と御用意願ひを存じ時。